


認知症の進行と主な症状の例

認知症の進行にともない生じてくる主な症状の例と、家族に必要な心がまえをまとめたものです。認知症の発症からその後を見通す参考としてください。（症状の現れ方には個人差があります）

代表的なアルツハイマー型認知症の進行の例（右に行くほど発症から時間が経過し、進行している状態）

	もの忘れかな？（MCI※）	軽度	中度	重度
本人の様子の例	<ul style="list-style-type: none"> □ もの忘れが多いが自立して生活できる。 □ 昔から知っている物の名前が出てきにくくなり、「あれ」「あの」が増えてくる。 □ 最近の出来事を忘れやすい。 □ 積極的に出かけなくなる。 □ 約束を忘れることがある。 □ これまでよりも、料理に時間がかかる。 □ 運転にミスが見られるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> □ もの忘れはあるが、日常生活は概ね自立している。 □ 同じことを何度も話す、何度も聞く。 □ 置き忘れ、しまい忘れが多くなる。 □ 物事への関心が薄れる。 □ 段取りが悪くなる。 □ 怒りっぽくなったり、うつ傾向になる。 □ 不安、焦燥感がある。 □ もの忘れ、失敗を隠そうとする。 □ 身近な人に物を盗られた等の被害妄想をもつ。 □ 消費者被害にあいやすい。 □ 同じ物を購入する。 □ 処方薬の飲み忘れ等が多くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 身体が動きにくくなる人もいる。 □ 着替えや排泄がうまくできない。 □ 時間や場所がわからない。 □ 来訪者への対応が難しい。 □ 金銭管理がうまくできない。 □ 身の回りのことができなくなる。 □ 買い物ができない。 □ 火を消し忘れる。 □ 道に迷い自宅へ戻れなくなる。 □ 詐欺などにあいやすくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 会話がうまくできなくなる。 □ 家族の顔や自分の顔が認識できなくなることがある。 □ 表情が乏しくなる。 □ 尿や便の失禁が増える。 □ ほぼ寝たきりで、意思疎通が難しい。 □ 歩行や食事など日常動作ができなくなり、いつも介護が必要になる。
家族の心がまえ	<ul style="list-style-type: none"> □ 地域行事やボランティアなどの社会参加や、家庭内で役割を持つように働きかける。 □ 趣味や散歩などの運動を続けるように働きかける。 □ いつもと違う、何か様子がおかしい、と思ったら早めにシニアサポートセンター（22p）や、もの忘れ相談医（29p）に相談する。 □ オレンジカフェ（42p）に参加し、認知症の方や介護について理解を深める。 □ 認知症サポーター養成講座（62p）を受講し、認知症について理解を深める。 □ 運転チェック表（56p）を記入してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 接し方の基本やコツなどを理解する。 □ 家族間で介護のことについて話し合っておく。 □ 介護で困ったことがあったら抱え込まず、早めに担当ケアマネジャーやシニアサポートセンターに相談する。 □ 介護者サロン（53p）に参加し、先輩の介護者の意見を参考にする。 □ 消費生活相談に行ってみる。（61p） □ 成年後見制度について相談してみる。（59p） □ 介護者が服薬の見守りや管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 介護者自身が健康管理を行う。 □ 介護サービスを上手に利用する。 □ 介護の負担が増えるため、困ったことがあったら抱え込まず、早めに担当ケアマネジャーやシニアサポートセンターに相談する。 □ 介護者サロンに参加したり、相談機関をフル活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 日常生活でできないことが増えることを理解する。 □ 合併症を起こしやすくなることを理解する。 □ どのような人生の最終段階を迎えるか、家族間でよく話し合っておく。 

相談先情報	シニアサポートセンター （地域包括支援センター） ■連絡先：22～25p 地域で暮らす高齢者の介護、福祉、医療等に関する相談窓口です。	さいたま市認知症疾患医療センター （25p） ■連絡先：048-857-6811 認知症に関する診断や急性期治療、電話による専門医療相談などを行っています。	認知症相談 （26p） ■連絡先：080-2191-9578 認知症地域支援推進員が電話相談に応じるとともに、専門の医師による個別相談を実施しています。	認知症の人と家族の会 埼玉県支部 （26p） ■連絡先：048-814-1210 介護に関する日頃の悩みを電話で相談できるほか、県内各地で介護者のつどいを開催しています。
	※ どの相談先も、進行状態にかかわらず相談できます。			
	（※）「MCI」（軽度認知障害）とは、健常者と認知症の方の中間の段階に当たる症状で、加齢による単なるもの忘れと違い、年齢に沿わない強いもの忘れがある状態です。			